

コスタリカの国際甲殻類学会に参加・英語での発表の報告

兵庫県菅生川の淡水エビ *Neocaridina spp.* に付着する共生生物ヒルミミズ (*Holtodrilus truncatus*) とスクタリエラ (*Scutariella japonica*) の相互関係の観察の高校生英語発表

Interaction of the two ectosymbiotic worms *Holtodrilus truncatus* and *Scutariella japonica* attached on the host shrimp *Neocaridina spp.* from the Sugo River, western Japan

小谷真璃奈・山中まりな

(神戸市立六甲アイランド高等学校2年 顧問 丹羽 信彰)

コスタリカの国際甲殻類学会：

私達は、コスタリカで行われた国際甲殻類学会 The Crustacean Society summer meeting : COSTA RICA San José (2013年7月6日-13日ヒューストン経由)に参加して、英語で発表してきました。一昨年のハワイ、昨年のギリシャで発表された先輩方の研究を引き継ぎ、海外という大舞台での英語の発表にすごく緊張しました。今回もSSH(スーパーサイエンスハイスクール)プロジェクトの海外研修の一環としてポスター発表(7月10日15時50分~17時45分)しました。

私達は、短い準備期間の中、指導の丹羽先生が2003年以来、兵庫県菅生川の *Neocaridina spp.* の共生生物の行動を観察してこられた研究のご指導をして頂きました。発表内容は2003年以来の兵庫県菅生川のヒルミミズ (*Holtodrilus truncatus*) の行動を観察して得た271ホストエビの写真を解析しました。前回のヒルミミズの生態から今回は、共生生物スクタリエラ (*Scutariella japonica*) との相互関係に注目しました。楕円立体のスクタリエラ卵300個から卵径と体積を算出しました。ヒルミミズはスクタリエラ成体もその卵も食べなくて、同一ホスト上で出会っても全く無関心である事を動画を使って解説し、話題になりました。

事前の日本語での発表： 兵庫県生物学会・神戸大学サイエンスショップ共催高校生私の研究発表会2012(2012年11月25日)で発表し、兵庫県生物学会ポスター発表部門奨励賞を頂きました。次に 兵庫県立人と自然の博物館第8回「共生のひろば」発表会(2013年2月11日)で発表し、ポスター発表部門審査員特別賞を頂きました。ともにギリシャ発表の2名が3年で受験のため、後輩の和田莉那(2年)・井上夕綺(1年)の2名が参加しました。

コスタリカでの発表本番(英語)：幸運にも、行きのヒューストンで乗り継ぎの際、昨年、先輩方が助けて頂いたサウジアラビアのHamad Al-Yahya博士に出会いました。すぐ空港から早速、英語のご指導をして頂きました。その後、発表が後半であったので、ホテルに到着してからも2度にわたってご指導して頂き、周到的発表の準備ができました。その甲斐もあり、私達の発表には多くの方が聞きに来て下さり、大好評でした。去年の先輩方は折り鶴にメッセージを書いてプレゼントされたという事をお聞きしていたので、花の絵の描かれたカードに感謝のメッセージを書いたものと、去年の先輩方と同じ折り鶴をプレゼントしました。特にお世話になったHamad Al-Yahya博士には日本手ぬぐいやお箸もプレゼントしました。今回、英語やスペイン語が飛び交う中で、私達も精一杯、英語やジェスチャー、ちょっとしたダンスなども使って発表をしました。それがすごく好評で、本当に多くの方が聞きに来られました。そんな私達に、学会の博士の方々も笑顔で応対して下さい、本当に感動しました。ある博士に、「来年もまたおいで！」と言って頂けて本当に嬉しかったです。今回のような貴重な体験はさせて頂き、私達にとって、素晴らしい経験・刺激、そして、かけがえのない思い出になったと思います。

なお本発表は、兵庫県生物学会・神戸大学サイエンスショップ共催高校生私の研究発表会2013(2013年11月23日)で発表し、兵庫県生物学会ポスター発表部門奨励賞を頂いた。

コスタリカでの高校生の発表風景



世界の甲殻類研究者の皆さん。



トップクラスの研究者と英語で堂々と質疑応答できた。



ヒューストンで再会したサウジアラビアの教授 Hamad Al-Yahya 博士がまたまた終始高校生に英語の手ほどきをして下さった。



国際甲殻類学会会長 Christopher Tudge 博士も一番に見に来て下さる。



European governor TCS Elena Mente 博士も直ぐに見に来て下さる。



ヒルミミズとスクタリエラの動きもビデオ動画で発表できた。



ラテンアメリカの大御所 John McNamara 博士も真剣に見て下さり、英語で堂々と質疑応答ができた。

第9回共生のひろばでの発表風景

